



世界遺産で 四国遍路PR

高松のNPO

徳島
遍路
資料室を今秋開設

スペインにある世界遺「法人」遍路とおもてなし
産「サンティアゴ・デ・のネットワーク」などが
コンポステラの巡礼 現地の町と協力して今
路」に、高松市のNPO 秋、遍路資料室を開設す

交流記念碑を囲む「遍路とおもてなしのネットワ
ーク」の松岡敏文事務局長とモリナセカ町のバ
ルボア町長(右)09年6月、スペイン・モリナセカ
町(提供写真)

る計画を進めている。

年間10万人以上が訪れ
るキリスト教の聖地に続
く道で四国八十八カ所霊
場巡りをPRし、外国人
観光客呼び込むのが狙
い。松岡敏文事務局長は

「遍路道を歩いて風土や
文化に触れ、四国の巡礼
の魅力も感じてほしい」
とアピールしている。

日本政府観光局による
と、外国人旅行者のう
ち、2008年に四国地
方を訪れたのはわずか1
・1%。全国の県別で
は、四国4県すべてがワ
ースト6位までに入り、

遍路道の世界遺産登録を
目指す動きにも水を差し
ている。

松岡事務局長らは巡礼
を通じた「国際提携」で
遍路道の知名度を上げよ
うと活動を開始。

資料室はキリスト教の

三大聖地の一つ、サンテ
イアゴ・デ・コンポステ
ラから約200キロ離れ
たモリナセカ町役場の旧
庁舎につくり、遍路の白
装束や納経帳を展示、ス
페인語で霊場を紹介し
た映像も用意する。